

6月25日開催

平成25年
6月
第16回臨時会

町長提出議案

黒潮町特別職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

趣旨

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、各地方公共団体において、国に準じた措置を講ずるよう要請があったことを受け、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間における特別職の職員の給与の支給額を、町長については10%、副町長と教育長については5%をそれぞれ現状(※)より減額するもの。これによる削減総額は119万円強となる。(賛成・多数)

※現状、財政状況を考慮して、町長については10%、副町長と教育長については5%をそれぞれ減額中。

●特別職給与(月額) 【単位:円】

	基本給	今回削減前	今回削減後
町長	721,000	648,900	576,800
副町長	628,000	596,600	565,200
教育長	580,000	551,000	522,000

議員提出議案

黒潮町議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定

提出議員 矢野 昭三
賛成議員 西村 将伸

趣旨

東日本大震災の惨状を踏まえ、私たちの町にも大変な予期せぬ出来事が中央防災会議から示されてきた。それを受け、町長を始め大変多くの方々が日夜この問題に取り組んでいることを思う時、議会としてもその意を汲んで姿勢を示していくべきとの考えの基に提案をする。

内容は、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間における議員に支給する報酬の月額を2.3%減額するもの。これによる削減総額は67万円弱となる。(賛成・多数)

討論

反対討論 小松 孝年議員

前定例会にて職員給与削減を否決した上での議員報酬削減は矛盾がある。また、この案が通れば職員には色々と負担がかかると思われる。

反対討論 宮地 葉子議員

前回も反対したが、その理由は、防災は国の仕事、各地域が防災で頑張っている時に国が地方交付税を減らしていく。減らすべきでないという声を上げるべきだ。

また、公務員の給与は、人事院勧告に基づくべきで、国が制度を無視していくことは、地方分権をないがしろにしていくので、すべきではない。

賛成討論 山崎 正男議員

前定例会も賛成したが、本来なら職員も特別職も給与削減した上で、議会も同調して共々がこの黒潮町の困難を乗り切ろうという気持ちを出すべき。今回、特別職の引き下

げを受け、議員も一丸となって、町長とこの黒潮町の苦難を乗り越えたい。

賛成討論 西村 将伸議員

先の定例会にて職員給与削減が否決された。職員200名に対し、議員は16名と人数は少ないが、議会は、「震災対策特別委員会」を立ち上げる等して、執行部と共に震災対策に取り組んで来たこともあり、金額は少ないが、議会人として姿勢を示すべき。

●議員報酬(月額) 【単位:円】

	削減前	削減後
議長	254,000	243,078
副議長	202,000	197,354
常任委員長	187,000	182,699
議運委員長	187,000	182,699
議員	180,000	175,860